

のうね Nounet PLUS

のうねの郷だより 2016. 8. 25 夏号
人と地域をつなぐ情報誌

のうねの郷づくり推進協議会

CONTENTS

- ✓ 特集—チャレンジ! 合宿通学... P.2~3
- ✓ トピックス... P.4~5
- ✓ 歴史の場所を歩く⑭... P.7

のうねの郷コミュニティセンターの緑のカーテン! 今年はあさがお、ゴーヤ、小玉すいかで夏の涼を演出



玄女



堀水



女形谷



城北2区

集落の花壇



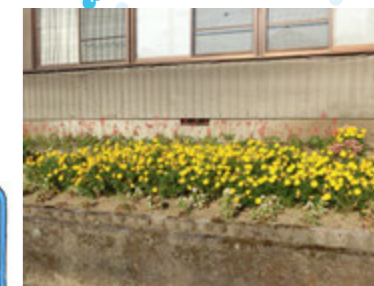
城北5区



松川



与河



田屋



文京



小黒



里丸岡

編集後記

▼皆さん、この夏はいかがお過ごしでしたか?今回は、「期間限定の夏の過ごし方(休日編)」を書いてみようと思えます。期間は8月上旬よりお盆過ぎまで(ぶつちやけ甲子園の期間)。場所は和室でテレビが在る部屋。重要なのは冷房はかけないこと。用意するものは、ちゃぶ台、瓶ビール(キンキンに冷えたのが良し)、枝豆。次に服装。まずはランニングシャツにステテコ、そして手拭い。最後に観賞方法。テレビの画面を見ながら対戦両校に対し平等に応援を行う。「打ちも打ったり、捕りも捕ったり」と一喜一憂するべし。これが、正しい「期間限定の夏の過ごし方(休日編)」(ポイントカ?)皆さん、興味をもたれた方は来年やつてみてはいかがですか? (Y・E)

のうねシルバーフェスタ & 郷まつり

敬老会と郷まつりを同時開催します。フィナーレは夜空を彩る花火大会! ご家族みんなで楽しめるまつりを企画していますので、ぜひあそびにきてくださいね!

★日時 9月25日(日)
★会場 長畝小学校 体育館
旧長畝幼保園 他

※詳しくは9/8に全戸配布するプログラムをご覧ください。

これからの予定

- ☆8月27日(土) 歴史講演会『豊原と中世期の寺院』
- ☆9月11日(日) 特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会
- ☆9月24日(土) 長畝地区親睦グラウンドゴルフ大会
- ☆10月8日(土)・9日(日) 丸岡古城まつり 五万石パレード、総踊り参加
- ☆10月14日(金) 短期講座『飾り巻きずし』
- ☆10月23日(日) フットパス体験会
- ☆11月20日(日) 長畝地区親睦ボウリング大会



寝起きを共にした仲間たちがコミュニティセンターから登校♪よく眠れたかな？



霞の郷温泉のお風呂に入りました。

2日目は買出しと調理に役割分担してみんなで作ったカレーライス。先生方をゲストに招き、一緒に食べました。今回のカレーは班ごとに違うかくし味入り。どのお鍋もきれいに完食しました♪



ホテル観察会。高屋博士の話聞き五味川へ。たくさんのホテルに出会って、感動う〜☆



お家の人からもらった手紙に返事を書きました。



どんなことをするの

- ・協働宿泊
- ・食事づくり
- ・準備、後始末
- ・その他身の回りのこと全般
- ・銭湯入浴
- ・洗濯
- ・掃除

※ふだん家族の人にやってもらっていることを、自分たちの力でやりました。



3日間お世話をして下さった方たちは、とてもやさしく分かりやすく指導して下さいました。



合宿通学事後アンケートより

○ 合宿通学をとおして、わかったことや気づいたことを書いてください。

- ・親のたいへんさが分かった。
- ・お母さんがいつも家事をあたりまえのようにしてくれているけど、合宿通学をしたからこれからは家事を手伝いたいと思いました。
- ・毎日の大人の仕事はそうかんたんじゃないとわかりました。

○ お世話になったボランティアやスタッフの方へメッセージを書いて下さい。

- ・3日間ありがとうございました。スタッフの人やボランティアの人のおかげでいろいろなことを学びました。
- ・お風呂の時やごはんの時もやさしく教えてくれてありがとうございました。自信もつきいろいろなことが学べました。

○ 友達と協力しながら生活したこの2泊3日の思い出を書いてください。

- ・合宿通学に参加してよかったなと思います。理由はいつもお母さんがしてくれる洗たくやごはん作りをしてお母さんのたいへんさが分かったからです。学校でも友達と色々なことにチャレンジしていきたいと思います。
- ・カレー作りで買ひ物にいたり、かくし味をあみだくじで決めたりしたことが楽しかったです。洗たくとか干したりしたこともちょっとだけおもしろかったです。ありがとうございました。
- ・ぼくの思い出はみんなで遊んだり、食べたり、寝たりしたことです。家に帰って合宿通学で学んだことをやってみみたいです。



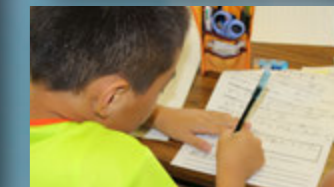
坂井市の男女共同参画の寸劇に子どもたちも参加。役になり切り、楽しみながら理解しました。班対抗のかるたゲームでは大盛り上がりでした。



食器のあとかたづけも役割を決めて協力してやりました。



朝ごはんにもそ汁を作りました・・・味はどうか？



幻 第12回ホタル観察会 想的なホタルの光を楽しむ

ホタル観察日和となった6月17日(金)、約110名の親子が長畝小学校体育館に集合。ホタルの生態や種類の見分け方を学んだ後、ホタルの生息場所へ出発した。味岡山から丸岡高校へ向かい、五味川沿いを歩く。目を凝らしてみると、ポツポツとホタルの光が見える。そして、丸岡高校横の橋の下にホタルが群れを成して飛んでいるのを見つける。数十匹が伴侶を求めて飛び交う様子は、美しくもあり儚くもある。あと数日もすれば卵を産み死する運命が余計にそう感じさせるのか。参加者の皆さんも、「スゴイ!」「キレイ!」「いっぱいいる!」と感じたことを口にしていった。ホタルの群生地が地元にあることは喜ばしいことであり、継続しての保護活動が必要であることを実感した。(文・じょうほう部会)



区 長畝地区区長会防災視察研修 長ら防災知識や行動を学ぶ

地域住民に防災意識の高揚を図り、区長が率先して防災知識や災害時の行動能力を高める事を目的に、6月18日(土)『京都市市民防災センター』で、視察研修が行われました。地震体験コーナーでは、冬の台所を想定した震度7までの揺れを体験。必死でテーブルの下にもぐり、揺れが収まりかけたら火事を起こさない為にストーブの火を消し、避難時の確保の為に勝手口のドアを開ける。念のためにガス等の栓を締めるなど、地震発生時の取るべき行動を学びました。また、強風体験、ホテルでの火災発生時の避難行動の体験も行いました。災害は防ぐことはできないが、被害は私たちの心掛けで少なくすることができる。とっさの場合に正しく行動がとれるように、平日頃から防災対策の心構えを持つことが重要であると、再認識した一日になりました。

(文・じょうほう部会)



ホ 「鯰絵で民俗学」著者の細田博子さん ホームページがつないだご縁

鯰絵(なまずえ)を研究している、現在国学院大学院の細田博子さんから一本の電話が入る。ホームページを検索していたら、女形谷の白山神社境内に鯰の絵馬堂がある事を知り、ぜひ取材をさせて欲しいとの依頼があった。6月20日(月)東京から丸岡を訪れ、のうねの郷づくり推進協議会前会長の水崎氏から歴史や鯰馬の説明をうけ、1855年に江戸を襲った安政大地震後の鯰絵がこんなに多く残されていることは珍しく、とても貴重であると細田さんは語り、大変感激されていた。

まち協のホームページが、こんな形で人と人を結びつけたことに驚き、改めて情報発信の必要性を感じた。



海 まちづくり協議会交流事業 海の醍醐味親子らが体験

初夏の青空が広がる7月10日(日)、三国サンセットビーチ周辺で、雄島地区まちづくり協議会主催のイベント『海でぼうけん!』が開催されました。今回、坂井市で初のまち協同士の交流事業として、私たち長畝小の親子約40名が参加。6つのコース(漁師体験、遊覧船乗車、刺し網体験など)に分かれて海の魅力を体感しました。私は娘と一緒に、スタンドアップパドルボードという新しいマリンスポーツに挑戦。難しかったですが、最後には二人とも何とかボードの上に立って進むことが出来ました。終了後には、おにぎりやサザエ、そして獲れたての魚を焼いていただくなど、楽しく貴重な体験となりました。関係者の方々にも心より感謝すると共に、今後益々このような交流が進むと良いと思います。(文・長畝小PTA会長)

体 第9回ラジオ体操の会 操とクイズで爽やかな汗を流す

第9回『ラジオ体操の会』が7月23日(日)長畝小学校グラウンドで開催され、長畝小学校児童や丸岡中学校生徒とその保護者など約500人が参加しました。ラジオ体操前には、インストラクターの中田成裕さん(松川区)による元気あふれる掛け声と軽快なリズムの柔軟体操があり、本番のラジオ体操ではそろった動きでのびのびと体操を行っていました。

また、今年はラジオ体操の後に「〇×クイズ」が実施され、坂井市に関する幅広い難問の“頭の体操”も行なわれ、参加者は朝日を浴びながら頭と体を動かす心地よい時間を過ごしていました。

(文・じょうほう部会)



地 かんきょう部会里山整備事業 地道な努力が里山を守る

味岡山と国体看板の清掃作業が、8月7日(日)午前7時から行われました。国体看板へは10名が出向き、看板やサツキの間の雑草を取りました。味岡山は長畝地区遺族会の方々から早朝より頂上広場周辺の清掃作業をされ、7時頃より供養を営まれました。部会員と郷協12名は旧火葬場跡地、アジサイ周辺と南側方面の草刈を行いました。汗まみれの作業は大変ですが、14日に実施される「味岡山いこい祭り」や2年後の国体が楽しみです。

9月上旬にはイチジクの収穫、10月上旬には栗拾いが出来ると思います。カラスより先にご家族お揃いで楽しんで下さい。

(文・かんきょう部会)



Do you know.NE? の〜ね!

ソフトボールで
親睦と健康づくり

つぼみパーレンツ



「ゲーム」主審のコールにみんなの笑みがこぼれた。町協会長杯トーナメント、昨年の覇者に勝利した瞬間である。5年ぶり4回目の優勝、丸岡運動公園のナイターの光がとて心地よかった。

平成7年、ソフトボールを楽しみたいと、つぼみ保育園（坪江）の保護者によるソフトボールチーム「つぼみパーレンツ」が誕生した。7年目に念願の早朝Aリーグに昇格。その翌年の平成15年に初優勝。しかし、強敵ぞろいでの勝ち続けるのは難しいなかで、平成17年には町代表で県民スポーツ祭に、平成18年と24年には坂井地区代表で県民ソフト大会へ出場している。

結成当初から唯一残るメンバー、最年長でエースの東選手（長畝）は、チームを引っ張ってくれ、新しい保護者の方を勧誘しながら世代交代をしてきた。現在は21人、うち11人が長畝地区住民である。20歳代から50歳代までの幅広い年齢層と一緒にベンチ入りしている。ハッスルプレーは健在だが、試合に出るよりも見ている方がおもしろいという人も・・・やはり、試合に勝つとうれしい。健康づくりの一環としてソフトボールを楽しんでいる。

THE
長畝遺産

斎藤実盛公を偲び慰霊祭

— 長畝区 —

祭礼は毎年、実盛公の命日の六月二日（火）「実盛堂」で行われています。梅雨の晴れ間に恵まれ、田植えを終えた田んぼを渡る涼しい風の中、地区住民ら約三〇名が参加して実盛公の遺徳を偲びました。

斎藤実盛公は、源平相争う平安末期の寿永二（一一八三）年、加賀の国篠原で味方の平家軍総崩れの中、唯一人踏み止まり武士としての最期を見事に飾りました。享年七三歳。上長畝の西北に当たる字南出口、今は一面田畑が広がり、村人は「大やぶ」と呼んでいますが、ここに実盛公の館、長畝館がありました。現在は、この「大やぶ」の一角、小高い場所に「実盛堂」が建てら



▲実盛堂で行われた慰霊祭。

れています。内陣は三体、中央に俱利伽羅、篠原の戦いに出陣の時の正装の実盛像、右側に、公の守り本尊とされる十一面観音像、左側に僧形の実盛像が安置されています。
（文・古谷 哲郎）



歴史の場所を歩く⑭ 木波林道と入会山記念碑

のうね地区の東の山々は豊原の山ということでわれわれ地区の者は古くから慣れ親しんできた。古くは豊原三千坊で寺々の麓が立ち並んでいたのだから、その後は地区の入会山、秣場山として、貴重な燃料や、飼料用、肥料用の草刈場として利用してきた。

この古道コースの一つに展望コースがある。川上区から少し上流の木波橋から入って豊原に至る約10kmの山道である。木波橋を渡るとしばらく谷あいのおうねした坂道が続く。途中から尾根に出で展望が開け、広い坂井平野を一望することができるとも気持ちのいいハイキングコースである。地元ではこの道を木波林道と言っている。軽トラックが

通れるように整備はされているが、道の中央に落石が転がっていたりしてかなり荒れている。途中で作業用の林道がいくつも分かれているので道に迷いやすく、川上側からでなく、豊原側から入ることをお勧めしたい。



さて、この木波林道の途中に入会山記

念碑とお地蔵の祠が建っている。草むらの中にひっそりと建っているのになかなか気が付かない。かつてこの山が入会山として地区民に親しまれ、利用されてきた歴史を物語る記念の跡であるのでは非注目して見つけてほしい。

は村有林とし、残りには集落ごとに地区民に分配払下げられた。この事業の完成を記念して大正十二年に建てられたのがこの記念碑である。碑文は山久保の牧野豊治氏が書かれて、整備に至ったいきさつが述べられている。



それによると、元禄十五年に丸岡藩主有馬公が豊原寺へ献納して以来、文化元年には所有地の境をめぐつての訴訟もあったが、無事収まっ



て地区民によって入会山として利用されてきた。明治になって保安林となって入山利用が禁止されたが、そのご尽力を得て、入山が自由になり、整備事業によって各個人所有となつたと記載されている。

いまは碑のありかを知る人もなく、入会山のいきさつも遠い過去のことになってしまった。
（文・水崎 亮博）

豊原フットパスウオーキングが開催され、以前は麓から眺

めるだけの山々であつたが、多くの人がこの山に入ってくるようになってきた。